

名前：

点数： /16点

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く — 手順は基礎編と同じ。素材の密度だけが上がる。

この一枚の技 心情記述は「きっかけ→心情→(変化後の心情)」を、行動・情景を根拠に組み立てる。気持ちのことがば(V005)を使い、「うれしい・悲しい」の二択から脱出する。想像で足さない——根拠は本文の行動と情景だけ。

兄の自転車をゆずり受けた日、ぼくはうれしさよりも先に、サドルの高さに戸惑った。つま先がやっと届くその高さは、兄が今のぼくよりずっと大きかったことを、はっきりと教えていた。ペダルを踏みこむたび、ぼくは兄の背中を追いかけているような気がした。やがて風がほおを切りはじめたとき、戸惑いはいつのまにか、静かな決意に変わっていた。

問1 「ぼく」がサドルの高さに戸惑ったのはなぜか。60字以内で説明せよ。

7点／目標6分

設計のヒント：高さそのものではなく、高さが「教えていた」もの（兄との差の実感）まで書く。

問2 傍線部について、「ぼく」の心情はどのように変化したか。その変化のきっかけにも触れて、80字以内で説明せよ。

9点／目標8分

設計のヒント：変化前（戸惑い）→きっかけ（兄の背中を追う走り・風）→変化後（追いつきたいという決意）。「決意」の中身を本文から補う。

問1 模範解答（55字前後）

つま先がやっと届く高さが、兄が自分よりずっと大きかったという差をはっきり実感させたから。

要素	採点基準	配点
事実	つま先がやっと届く高さだったこと	2点
核	兄と自分の差（兄の大きさ）を実感したこと	4点
形	文末「～から。」で60字以内	1点

問2 模範解答（75字前後）

兄との差を実感した戸惑いが、ペダルを踏み兄の背中を追うように走るうちに、兄に追いつきたいという静かな決意へと変わった。

要素	採点基準	配点
変化前	兄との差への戸惑い	3点
きっかけ	兄の背中を追うように走ったこと（風の場面でもよい）	3点
変化後	兄に追いつきたいという決意	3点

添削ワンポイント（よくある失点）

「悲しかったが、前向きになった」——本文にない一般的な心情語への置きかえは、変化前後の両方で減点される。この文章の心情語は「戸惑い」と「決意」。物語の記述も、評論と同じく本文の言葉を指さす競技である。

自分の答案が何点か知りたい方は、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。要素ごとに採点し、失点の原因を手順のこ
とばで診断してお返しします。（無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定）